

小林氏「大学の進化図る」

八学大 学長就任、正式発表

八戸市の学校法人光星学院（法官新一理事長）は5



学長就任への意欲を語る
小林眞氏15日、八戸市

日、八戸プラザアーバンホールで新年会を開き、前八戸市長の小林眞氏（74）が、4月1日付で八戸学院大の学長に就任すると発表した。小林氏は地方大学の振興を図る国の方針を歓迎し、「国の動きを受け止められるよう、大学の進化を図っていかねばならない」と意欲を語った。

2005年から4期16年にわたり市長を務めた小林氏。23年6月、同法人非常勤理事に就任し、昨年4月

から理事長補佐を担う。

新年会には、法人が運営する大学、高校、幼稚園の教職員ら約250人が参加。昨年11月の理事会で任期満了に伴う学長選挙が行われ、小林氏の八学大学長就任と、同大短期大学の杉山幸子学長の再任が決定されたことが報告された。

あいさつで小林氏は「責任ある立場を引き受けることとなり、『神を敬し、人を愛する』という建学の精神に改めて強い思いを抱いた」と心境を語った。

取材に対し、小林氏は「市長時代から行政と大学の連携の大切さを感じていた。学長の打診を受け、役に立てることがあるのではないかと考えた」と学長就任を受けた理由を明かした。

同法人は15日、小林氏の就任会見を開く。

（田村祐子）